

II AirTag

実験回数:18回 (見つけた回数:16回) 平均:2分58

▽実験方法

生徒: AirTagを渡す。

先生: AirTagを持った状態で授業教室へ移動。

○ iPhone操作により、AirTagの持ち主の位置が表示され



実験日	タイム	見つけた場所
2021/11/08	0:00:33	情報科準備室
2021/11/09	0:00:33	情報科準備室
2021/11/12	0:00:30	情報科準備室
2021/11/12	0:00:38	情報科準備室
2021/11/16	0:04:14	情報実習室
2021/11/16	0:00:05	多目A (3階)
2021/11/17	0:04:37	情報科準備室
2021/11/17	0:06:50	進路資料室
2021/11/19	0:17:45	情報科準備室
2021/11/22	0:03:36	第一PC室
2021/11/22	0:00:30	情報科準備室
2021/11/25	0:00:09	情報科準備室の前の廊下
2021/11/25	0:00:30	情報科準備室
2021/11/26	0:03:07	生物実験室の前
2021/11/26	0:00:53	情報科準備室

◆考察

半径5m以内に近づかないと、反応情報が捉えられなかった為、近くにいない場合では、**自力と同じようなかたち**になってしまった。

Wi-Fiなどの通信環境がないと使用できない為、校舎外探索には向いていない。

△使用後

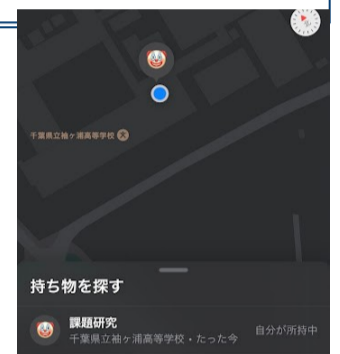
《先生に取ったアンケート結果》

・ 利便性について

非常に便利:1人 (17%)、**便利:3人 (50%)**、普

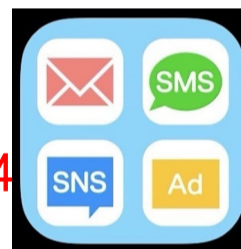
《改善点》

・ AirTagが500円玉ぐらい小さい為、持ち運ぶ際に専用のカバーやストラップなどを付ける工夫が



III 定型文

実験回数:14回 (見つけた回数:8回) 平均:3分34



実験日	タイム	見つけた場所
2021/11/17	0:00:22	情報科準備室
2021/11/19	0:03:10	4階パソコン室
2021/11/24	0:02:48	保健室
2021/11/26	0:01:36	情報科準備室
2021/11/26	0:02:24	職員室
2021/11/26	0:01:49	情報科準備室
2021/11/29	0:08:10	相談室
2021/11/29	0:08:16	相談室

▽実験方法

生徒: 先生に連絡用iPadを渡す。用意したGmail上の定型文を選択、送信する。(先生へ)

先生: 受け取ったiPadで受信。返事(返信)は、返信用のアプリで場所の名前を選択後、送信する。(生徒へ)

◆考察

Wi-fiが届かない場所でメールが届かないことや、先生が**通知に気づかない**ことが

○ iPadで Gmailの送受

△使用後

《先生に取ったアンケート結果》

・ 利便性について

普通:1人 (17%)、**やや不便3人 (50%)**、不便2人 (33%)

・ メール受信に気が付いたか

たまに気づかなかった:3人 (50%)、気づかないことがほとんどだった:3人 (50%)

《改善点》

・ 前もって、先生に明確に説明して、利用してもらう。

・ 通知に気づいてもらえるようにマナーモードを解除し音を出す。

新規メッセージ

宛先: 5hankenkyu04@gmail.com

Cc/Bcc、差出人: 5hankenkyu01@gmail.com

件名: |

どこにいらっしゃいますか?

iPhoneから送信

